



平成24年9月14日

各位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
代表者名 代表取締役 谷 直 樹
(コード番号:4579)
問 合 せ 先 取締役 常務執行役員 古田 晃 浩
(TEL. 0569-84-0700)

モチリン受容体作動薬の開発段階への移行のお知らせ

この度、探索段階にある当社モチリン受容体作動薬（化合物コード: RQ-00201894、以下「本化合物」）を開発段階に移行することを決定致しましたのでお知らせ致します。

本化合物については、探索段階における薬効薬理、薬物動態、および毒性等の試験を終了し、これらすべての試験で優れた成績を示したことから、開発段階へ進めることを決定したものです。

本化合物は、モチリン受容体に対する高い選択性を持ち、また、現在開発段階にある化合物の中では最も強力な作動活性を持っています。更に、本化合物は、経口投与可能な低分子化合物で、動物での消化管運動不全モデルにおいても明確な運動改善効果を示すことが確認されております。

現在、消化器疾患の適用で製造販売承認を受けているモチリン受容体作動薬はなく、本化合物が上市されれば新規作用機序に基づく画期的かつ効果的な消化管疾患治療薬となります。当社では、本化合物は、胃不全麻痺、術後イレウス、機能的ディスペプシア（機能的胃腸症）等の消化管運動障害関連疾患に対する画期的新薬となる可能性があると考えております。

なお、本化合物の開発段階への移行により、当社が平成24年8月9日に公表した通期業績予想に変更を要する影響はありません。

以上

(ご参考)

【胃不全麻痺および機能性ディスぺプシアについて】

胃不全麻痺や機能性ディスぺプシアは、吐き気や嘔吐、胃もたれ、早期飽満感、腹痛等多岐にわたる上腹部症状が持続もしくは繰り返される疾患です。疫学的調査によると、人口の 10~30%がこれらの上腹部症状を有し、生活の質の低下を招いているとされています。上腹部症状の病態には消化管運動障害が深く関与していると考えられていますが、現在の治療薬の選択肢はきわめて限られています。

【術後イレウスについて】

イレウス（腸閉塞）とは、腸の閉塞または運動障害により内容物が滞った状態を指し、腹部手術後の合併症として発生するものを特に術後イレウスと呼びます。術後イレウスは、腹部膨満感、腹痛、嘔吐等の不快な症状を引き起こし、手術後の回復を遅らせるだけでなく、重症化すると命に関わることもあります。2007年に米国で発表された論文では、米国内だけで少なくとも年間約 1,000 億円を超える医療費が術後イレウスへの対処のために費やされているとの報告もあり、術後イレウスの予防および治療に寄与する薬剤への期待が高まっています。

【モチリンについて】

モチリンは 22 個のアミノ酸からなる消化管ホルモンです。胃および腸のぜん動運動を刺激する作用を持ち、消化管機能の恒常性維持に重要な役割を果たしています。